

- 10月1日 川びたり（市内各地）
10日 市民運動会（市内各地）
金毘羅神社秋の例祭
（下天神町）
13日 十三夜（市内各地）
15日 機神社例祭（大幡）
20日 恵比寿講（市内各地）
28日 不動尊例祭（龍石寺）
11月3～5日 文化祭
（文化会館他）

第六回歴史講座

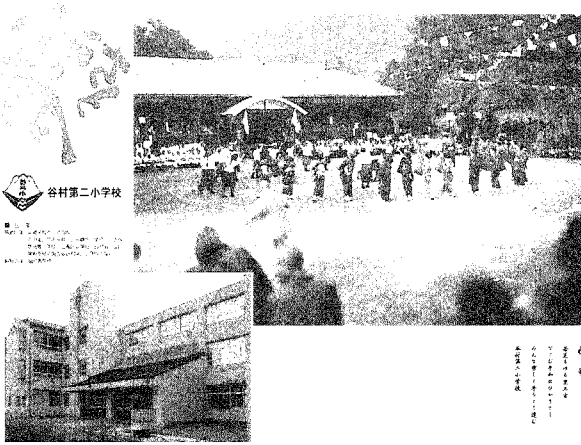
（最終回）

「城下町つると秋元氏の治績」
日時 10月7日（土）
午後2時～4時
場所 文化会館3階
テーマ 「芭蕉谷村流遇」
講師 都留市文化財審議員・
都留市郷土研究会々員
小林貞夫氏

今月のイベント

谷村第二小学校

「気を付け、前にならえ」元気のよい子どもの号令が朝の運動場に響きわたる。ラジオ体操、運動場の五周マラソンで学校の日が始まる。「さあ、今日も一日頑張る。」



近年国道一三九号線「都留バイパス」の一部開通によって、豊かな田畑の中に近代工場が建築され、それにとない住宅が増加している。近い将来この地域は発展し、本校の児童数も増えていくことと思われる。水清く、緑豊かなこの環境を維持しながらの発展を望むものである。

次代を担う我が校の子どもたちが、健康で逞しく豊かな思いやりの心を持ち、創造的で実践力のある人間として成長することをめざして毎日の学校経営に取り組んでいきたい。

谷村第二小学校長

山縣利縣

城下町つると秋元氏の治績

第五回秋元但馬守泰朝 (3)

泰朝が都留郡に移封以前の上州（群馬県）総社の地一帯は、長朝の開田の以前は畑作がほとんどで、年貢のための畑作物のほかは換金作物として桑を植え、養蚕を仕事とする農家が大部分を占めました。

『古語菽麦』（菽麦は愚者の意）に、「上州絹ヲ郡内ニ御移シ被遊候テ：高山五兵衛其ノ比ノ大身五百石ニテ絹師十二人有之候：初ハ千両（絹の運上）ニテ葉モ三百両ノ運上ナリ 後々ハ義舟公（秋元喬知）御代ニ絹運上二千両葉ノ運上千両ニ罷成ル」とあります。

（運上：営業者に課した雑税の一つ）
泰朝は総社から都留郡に移封にあたり、上州における養蚕・絹織の技術を郡内に移し、農家をはじめ家中（家中織）の女子の仕事として桑つくりと機織を奨励したことが知られます。

また泰朝の開いた大堰の急流は、織機の動力（水車）染色用水として利用されました。

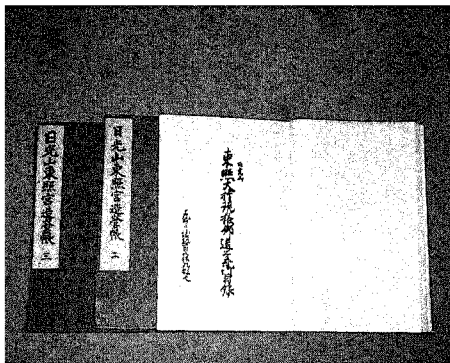
「甲州谷村城絵図」によると、本丸の西南侍屋敷に続いて土峯山照尊院泰安寺という寺があり、今もその跡地に泰安湯というお風呂屋さんがあります。

泰朝は寛永十三年上州渋川真光寺の亮海僧正（秋元氏家老高山伝右衛門繁政の弟）を招いて上谷村五千五百坪の地に泰安寺（墓地は無く秋元家の位牌寺）を建てて祖先の冥福を祈ったとのこと。

この泰安寺は秋元公の移封の度に川越―山形―館林と城の近くに移されて、明治維新を迎えて廃寺となりました。

泰朝は寛永十八年（一六四一）上吉田の諏訪明神前に富士山遙拝の大鳥居を建立、同十九年九月「日光東照宮普請精算報告書」を幕府に提出しましたが、翌十月二十三日卒しました。行年八十三歳、法名照尊院道哲泰安居士と称し、谷村羽根子の長生寺に葬られました。長朝と同じ総社光厳寺に改葬されました。

後に上使をもって賻銀（死者を弔い贈る金）二百枚が下されました。泰朝の室は大河内金兵衛秀綱の女です。



東照宮普請精算報告書写（日光東照宮蔵）

文化祭日程

日 時	
11月3・4日	午前9時～午後5時
11月5日	午前9時～午後4時
会 場	文化会館
式典の部	
開会式	11月3日午前9時
表彰式	11月5日午後1時
展示部門	
菊花展、さつき盆栽展、趣味作品、写真展、郵趣展、俳句作品展、短歌作品展、華道展、書道展、郷土研究展、自然を愛する会展、絵画展、老人大学作品展、生涯教育作品展	
11月25・26日	編物洋裁作品展
大会部門	
於 文化会館	
舞踊大会	10月15日午前10時
芸能合同大会	10月22日午前10時
合唱祭	10月29日午後1時
茶会	11月3日午前10時
囲碁大会	11月3日午前9時
俳句大会	11月5日午後1時
映画会	11月5日午前9時
詩の朗読会	11月19日午後1時
於 農協会館	
歌謡大会	10月22日午前11時
詩吟大会	11月12日午前9時
歴史探訪	11月5日午前9時30分